

中小企業景況調査報告書

(第124回)

平成23年10～12月期 実 績
平成24年 1～3月期 見通し

平成24年 1 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成23年12月
- (2) 調査対象期間 平成23年10～12月期実績及び平成24年1～3月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	61	43	66	69	283
中規模	14	11	19	13	27	84
合計	58	72	62	79	96	367
構成比(%)	15.8	19.6	16.9	21.5	26.2	100.0

(2) 業界動向調査

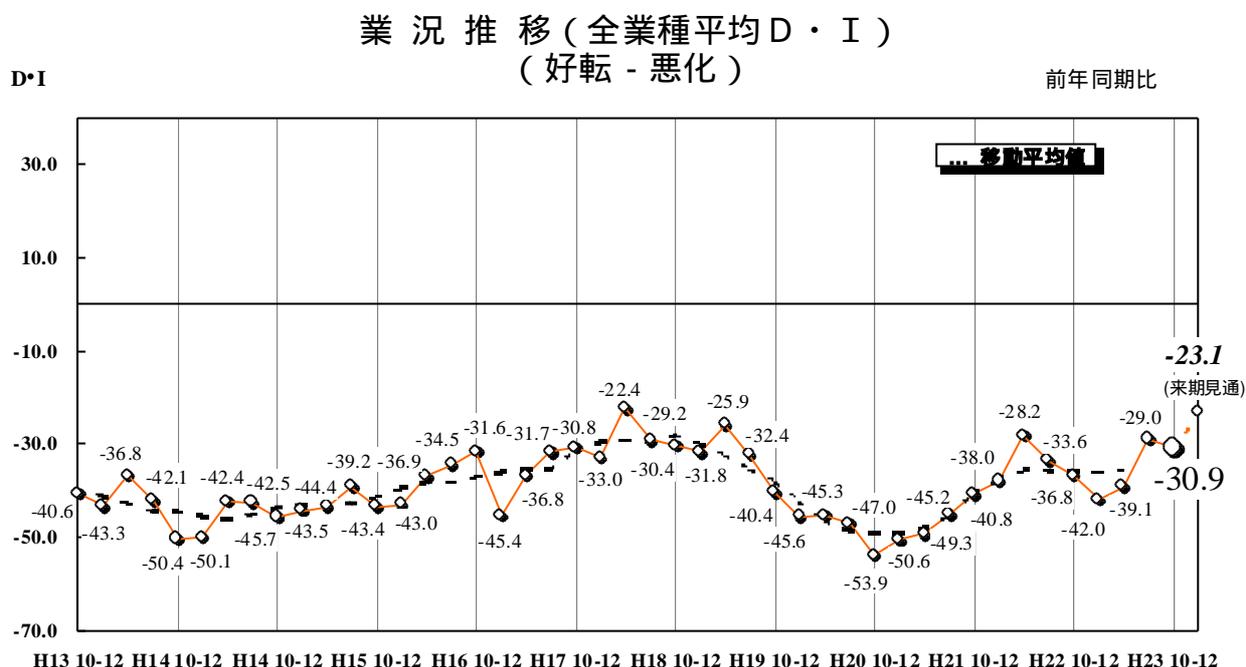
- ・業界動向ヒアリング先 製造業 44社、建設業 25社、卸売業 10社、
小売業 29社、サービス業 60社、合計 168社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・Iはマイナス幅を拡大、震災からの回復基調に一服感 -



今期の業況

今期(10月～12月期)の中小企業景況調査におけるの全業種平均D・I値(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、前年同期比(平成22年10月～12月期の水準と比較した今期の業況)では -30.9と前回調査より、1.9ポイントマイナス幅を拡大した。

来期の業況見通しは、-23.1とマイナス幅を縮小する見通しとなっている。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 22.0 今回 26.3)、建設(前回 21.3 今回 32.9)、卸売(前回 39.3 今回 21.3)、小売(前回 34.2 今回 41.5)、サービス(前回 28.6 今回 32.3)と、卸売業を除く4業種でマイナス幅は拡大した。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、依然として全業種で「需要の停滞」(製造業39.5%、建設業48.5%、卸売業55.4%、小売業28.3%、サービス業36.9%)が依然として大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」(22.6%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(35.0%)、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」(6.9%)、小売業では「大型店・中型店進出競争の激化」(16.9%)、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」(14.3%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で11.9%と、前回調査時（11.9%）と同様の結果となり、実施していないが88.1%と、依然慎重な動きとなっている。また来期の設備投資予定については9.9%と、今期よりさらに設備投資を控える動きとなっている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 26.3（来期見通し 25.4）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年7月～9月期）時点からの推移では、前回 22.0 今回 26.3と4.3ポイントマイナス幅が拡大した。来期は 25.4と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・穀物類、乳製品の仕入れ単価が上がっていることに対し、売上は減少傾向にあり利益の捻出に苦慮している。（菓子製造）
- ・製品販売価格の低下、原材料の値上がり等による粗利益率の減少が、経営を一層厳しくしている。（金属製品製造）
- ・原材料である農産物の価格上昇により、採算はより厳しさを増している。自助努力ではどうにもならないところまできている。（飲料製造）
- ・本年9月以降増産体制をとりつつあったが、タイの洪水による影響により今後については不透明な状況。（自動車製造）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 32.9（来期見通し 23.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年7月～9月期）時点からの推移では、前回 21.3 今回 32.9と11.6ポイントマイナス幅が拡大した。来期は 23.9と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・震災の影響により、一部の建材の入手が困難となるなど住宅関連工事に影響を及ぼしている。市内での新築着工件数も前年比で約半減するなど、厳しい状況が続いている。（一般住宅建築）
- ・連日の大雪のため、工事に支障をきたしている。除雪に追われて手が回らない。（建設業）
- ・住宅新築ニーズは高く前年より好環境となっているものの、一時的なものであるため公共事業減少により低迷しており、明るい見通しはない。（建設業）
- ・公共工事について、被災地へ予算が重点的に配分されているため、今後も数年間同じ状態が続くことが予想され、倒産企業の増加と労働者の流出が懸念される。（土木工事業）

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 21.3（来期見通し 16.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成23年7月～9月期）時点からの推移では、前回 39.3 今回 21.3と18.0ポイントマイナス幅が縮小した。来期は 16.7とマイナス幅をさらに縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・卸先の販売力の低下、利益率の低下、販売店の減少等の要因より売上、採算ともに非常に厳しい状況。（食料品卸）

- ・人口減少、不況による消費の低迷、郊外大型店の影響で厳しい状況が続いている。クリスマス・年末年始商戦に期待したい。(食料品卸)
- ・少子高齢化・地域過疎化が進む中、消費不振が続き、売上は思うように伸びない。経費節減等により利益確保の見込み。(青果卸)
- ・商品が売れない状況は依然から続いている。近年自炊をしない若者が増えており、生鮮食品を購入する層が、あまり量を消費しない高齢者ばかりになってきていることも減退につながっており、長期的な課題となることが懸念される。(生鮮食料品卸)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 41.5(来期見通 28.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成23年7月~9月期)時点からの推移では、前回 34.2 今回 41.5と7.3ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 28.6と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

〔主なコメント〕

- ・依然として景気の回復が感じられず、商店街を歩く市民の数も少なく、今後の先行きのほうも不透明である。(商店街)
- ・震災後の売上減少が戻らないことに加え、経営者が高齢で後継者がいないため、近い将来廃業を検討している。(食品小売)
- ・売上は前年を維持しているものの、当初の目標額までに達していないため、設備投資による借入金返済が厳しい。(コンビニエンスストア)
- ・出足は遅かったが、冬物商品の売れ行きが好調となってきた。しかし顧客の高齢化により購買力は全般的に低下してきている。(衣料品販売)
- ・節電意識の高まりか、省エネタイプの製品の売れ行きは好調である。しかし薄型テレビの落ち込みが激しく、全般的には低調に推移している。(家電販売)

【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 32.3(来期見通 21.1)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成23年7月~9月期)時点からの推移では、前回 28.6 今回 32.3と3.7ポイントマイナス幅が拡大した。

来期は 21.1と今回よりマイナス幅を縮小する見通し。

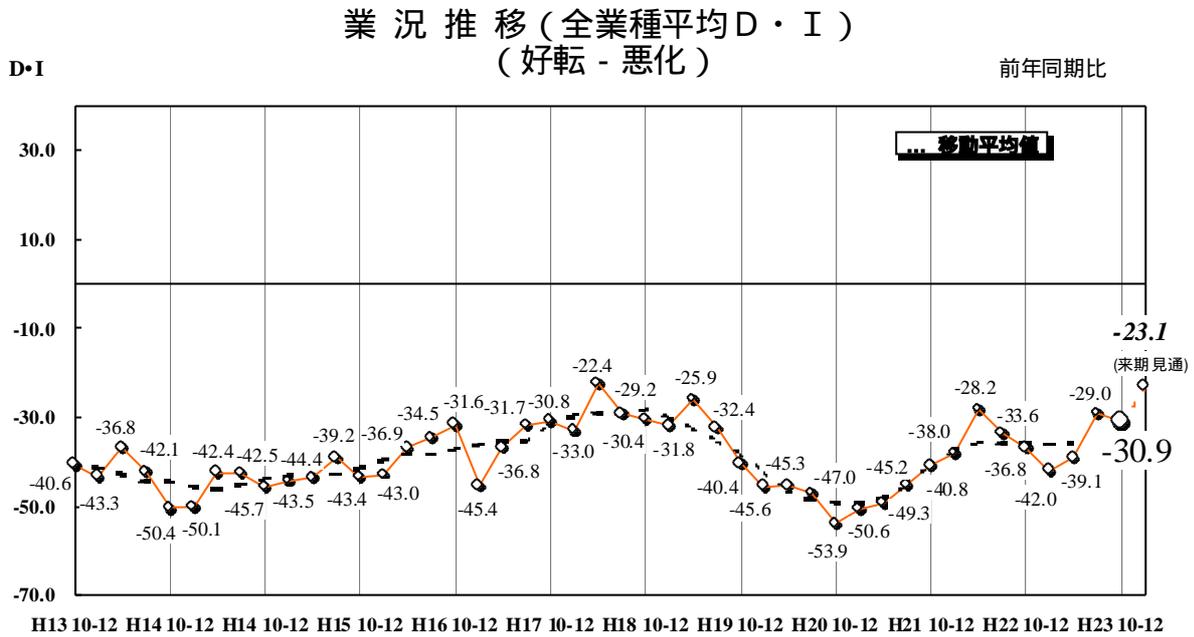
〔主なコメント〕

- ・衣替えの時期で利用があるが、地域の人口の減少などにより利用客は減少傾向にある。燃料関係が値上がり傾向にあるが料金に転化出来ないため収益性が下がっている。(クリーニング協会)
- ・忘年会シーズンで多少賑わっているかのように見えるが、1次会で解散する団体客が多い。
(飲食店組合)
- ・12月の宿泊数を見ると前年度と変わっていないが、宿泊費等の低価格での提供など収入は落ちている。(ホテル)
- ・積極的なネット格安プランの投入により、売上額、利用客数は増加した。しかし、今後の見通しについては不透明な状況。(ホテル)

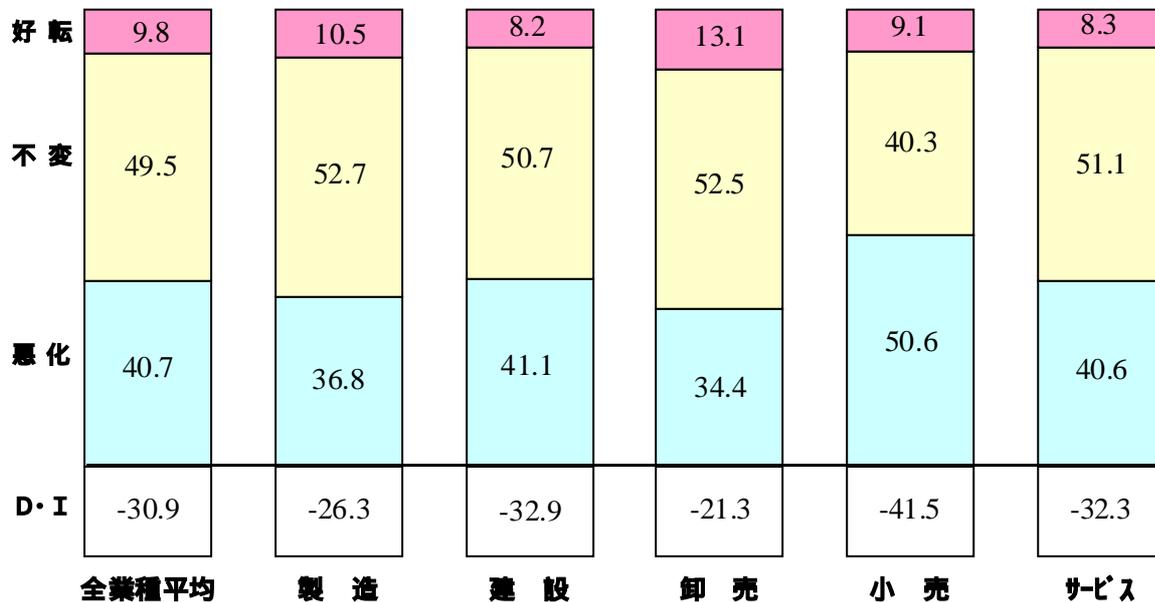
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成22年 10 ~ 12 月期の水準と比較した今期の業況）



今期の業況（前年同期比）

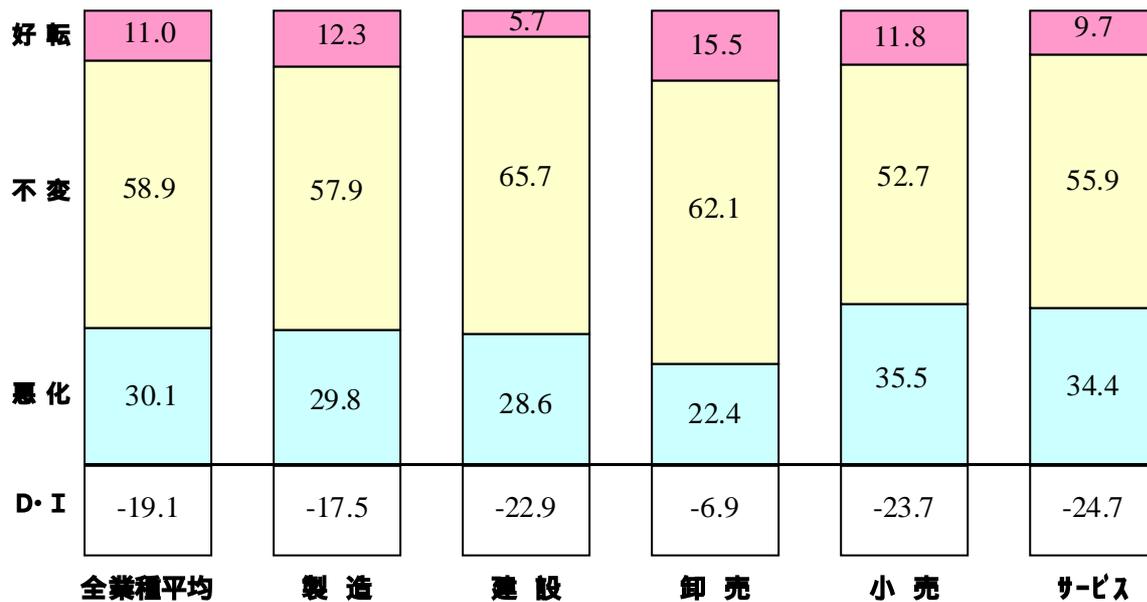


全業種平均でD・I値 **30.9**〔前回調査時（平成23年7～9月期 29.0）より1.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 22.0 26.3〕、建設〔前回 21.3 32.9〕
卸売〔前回 39.3 21.3〕、小売〔前回 34.2 41.5〕
サービス〔前回 28.6 32.3〕

【前期比】（平成23年 7 ～ 9 月期の水準と比較した今期の業況）

今期の業況（前期比）

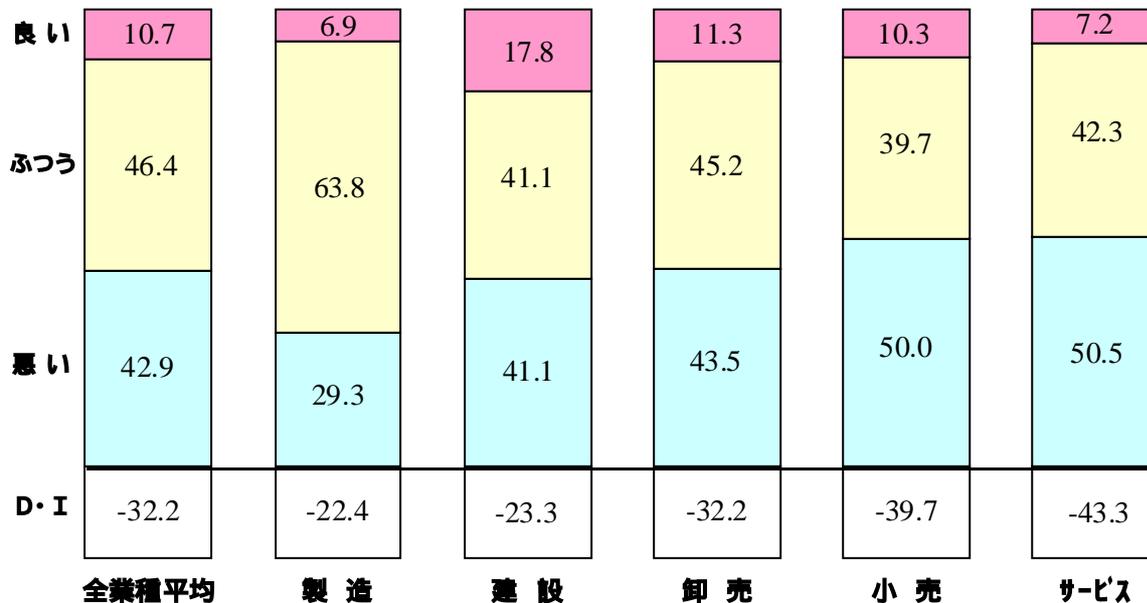


全業種平均でD・I値 19.1〔前回調査時（平成23年7～9月期 23.5）より4.4ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 18.7 17.5〕、建設〔前回 15.2 22.9〕
卸売〔前回 32.8 6.9〕、小売〔前回 28.0 23.7〕
サービス〔前回 22.7 24.7〕

【今期の水準】

今期の業況（今期の水準）



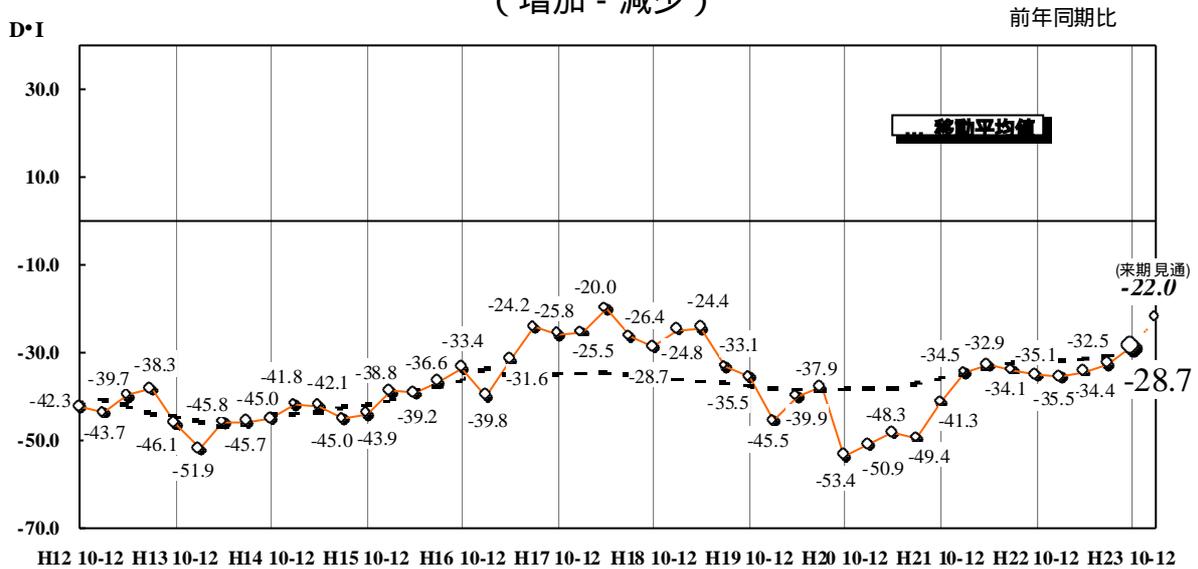
全業種平均でD・I値 32.2〔前回調査時（平成23年7～9月期 37.7）より5.5ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.3 22.4〕、建設〔前回 26.7 23.3〕
卸売〔前回 48.3 32.2〕、小売〔前回 36.7 39.7〕
サービス〔前回 47.6 43.3〕

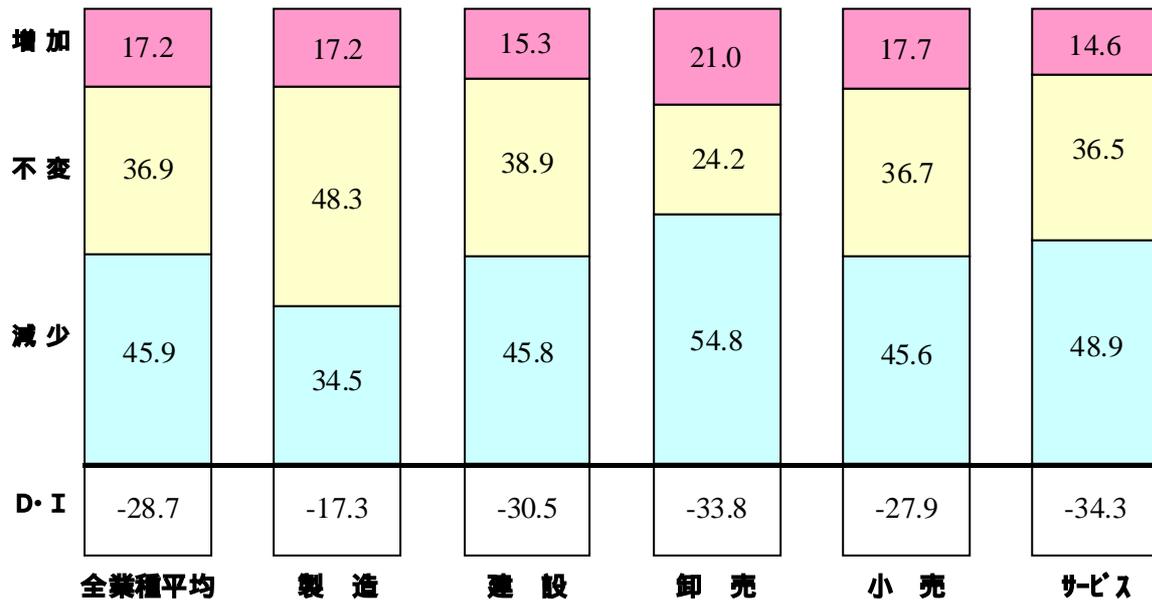
(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成22年 10～12月期の水準と比較した今期の業況）

売上高推移（全業種平均D・I）
（増加 - 減少）



今期の売上高（前年同期比）

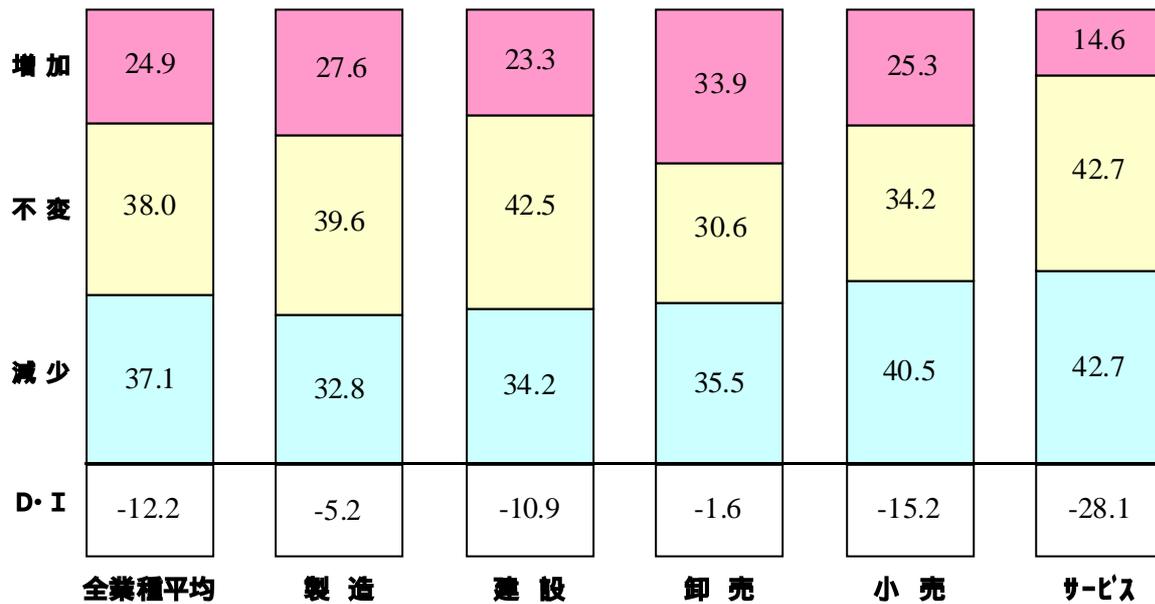


全業種平均でD・I値 **28.7**〔前回調査時（平成23年7～9月期 32.5）より3.8ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 13.6 17.3〕、建設〔前回 29.8 30.5〕
卸売〔前回 51.6 33.8〕、小売〔前回 30.9 27.9〕
サービス〔前回 36.5 34.3〕

【前期比】（平成23年 7～9月期の水準と比較した今期の業況）

今期の売上高（前期比）



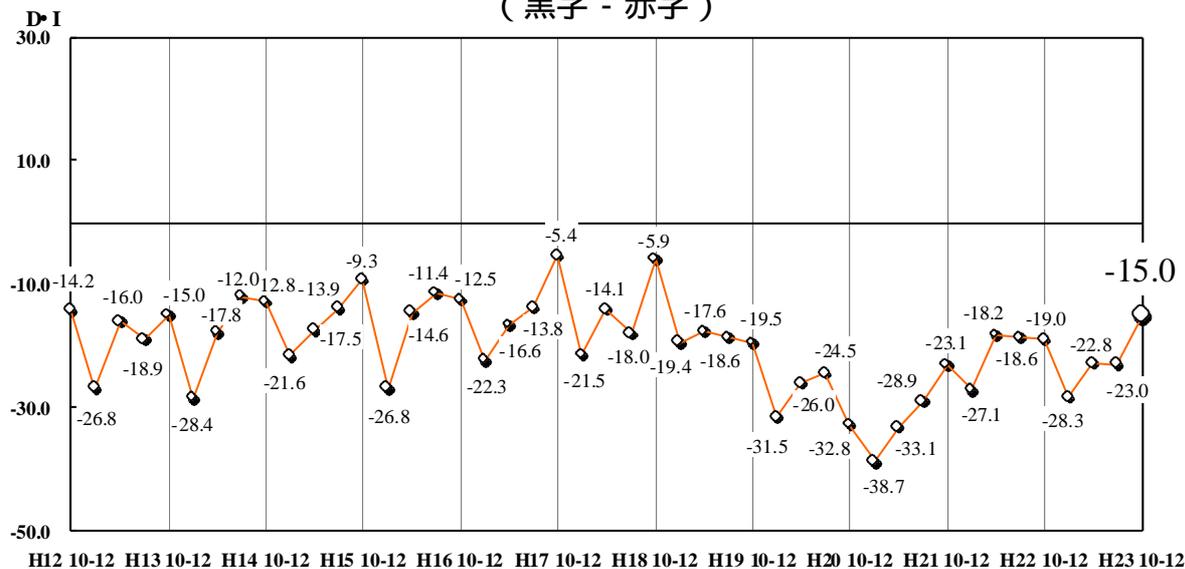
全業種平均でD・I値 **12.2**〔前回調査時（平成23年7～9月期 9.1）より3.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 5.1 5.2〕、建設〔前回 2.7 10.9〕
 卸売〔前回 4.9 1.6〕、小売〔前回 24.0 15.2〕
 サービス〔前回 13.8 28.1〕

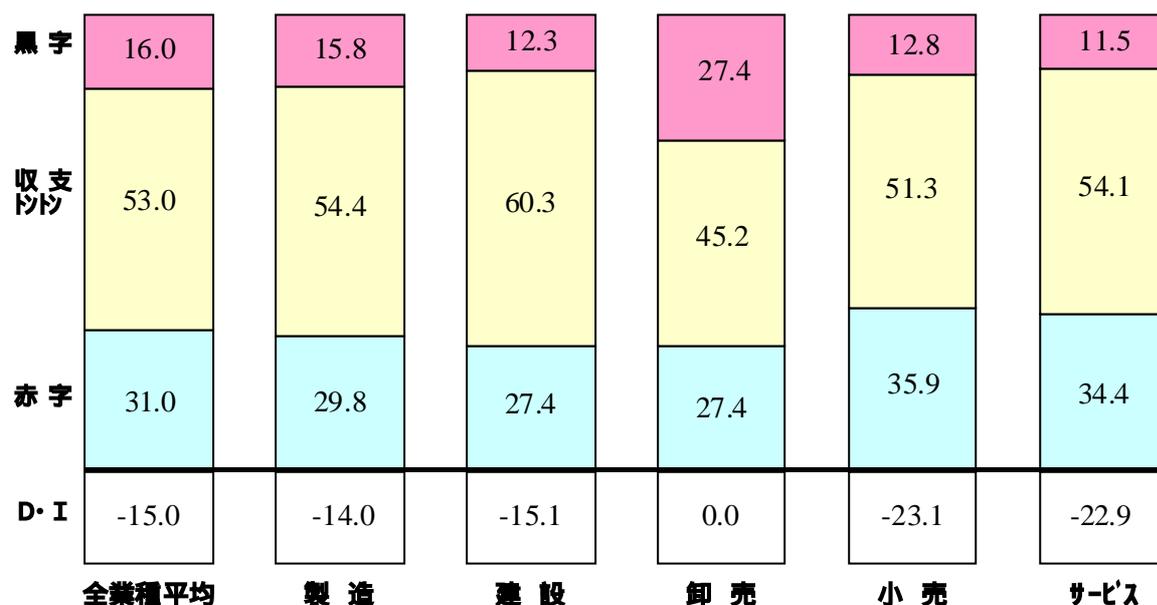
(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】

採算推移（全業種平均D・I）
（黒字 - 赤字）



今期の採算（今期の水準）



全業種平均でD・I値 **15.0**〔前回調査時（平成23年7～9月期 23.0）より8.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.1 14.0〕、建設〔前回 18.7 15.1〕
卸売〔前回 27.4 0.0〕、小売〔前回 25.3 23.1〕
サービス〔前回 19.8 22.9〕

【前年同期比】（平成22年10～12月期の水準と比較した今期の業況）

今期の採算（前年同期比）



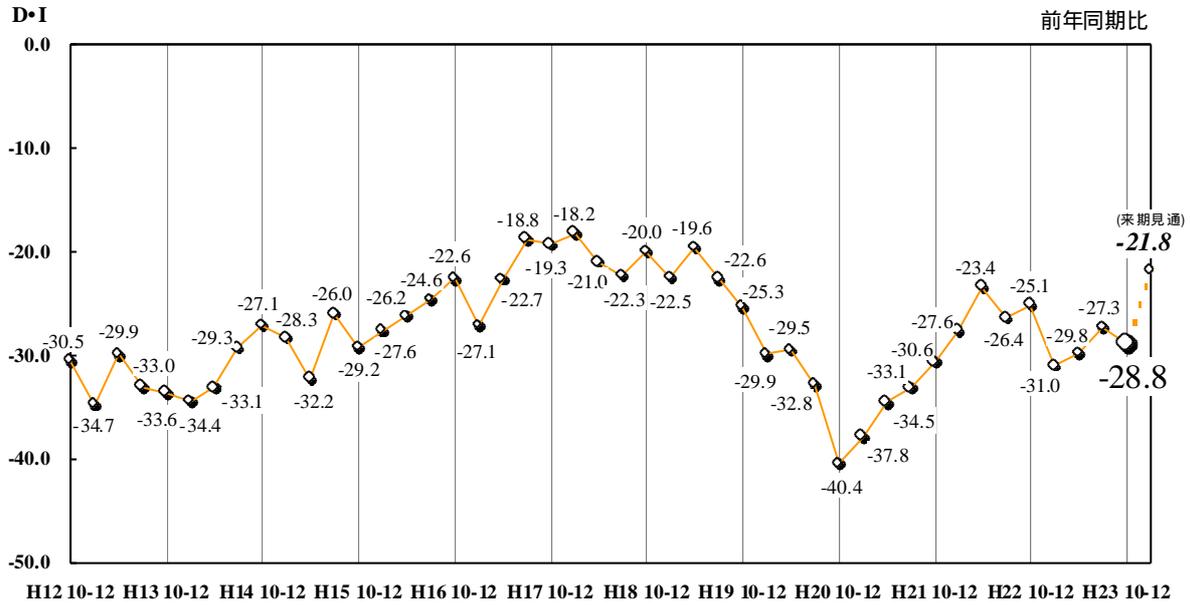
全業種平均でD・I値 **34.7**〔前回調査時（平成23年7～9月期 37.6）より2.9ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 33.9 29.8〕、建設〔前回 42.6 38.4〕
卸売〔前回 43.5 29.0〕、小売〔前回 34.2 36.7〕
サービス〔前回 33.7 39.5〕

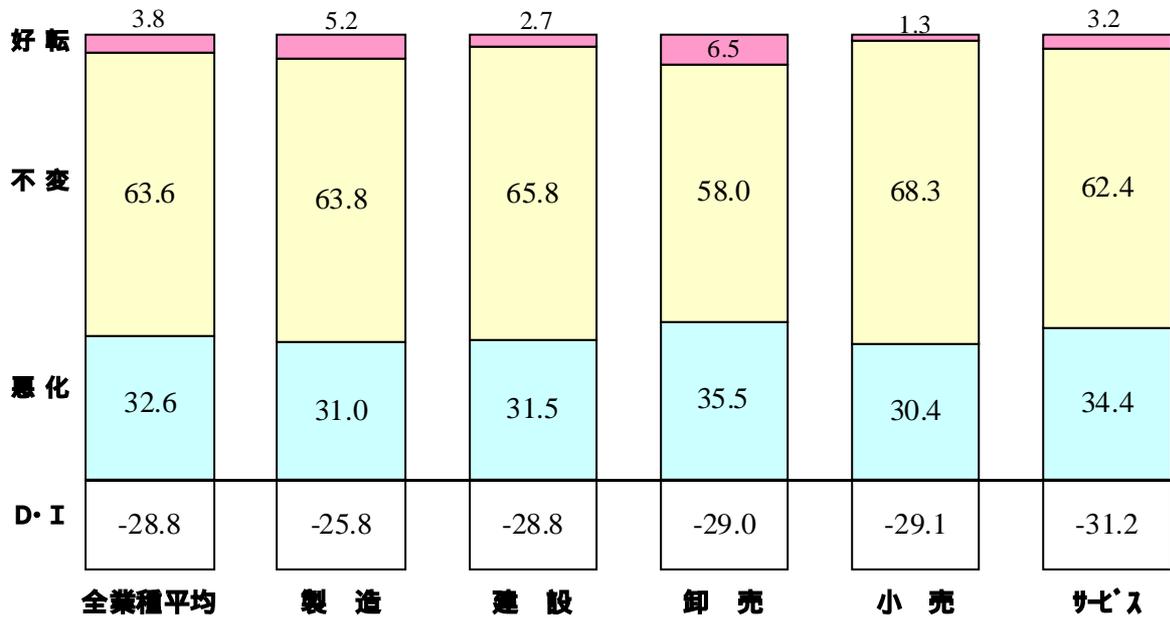
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成22年 10～12月期の水準と比較した今期の業況）

資金繰り推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



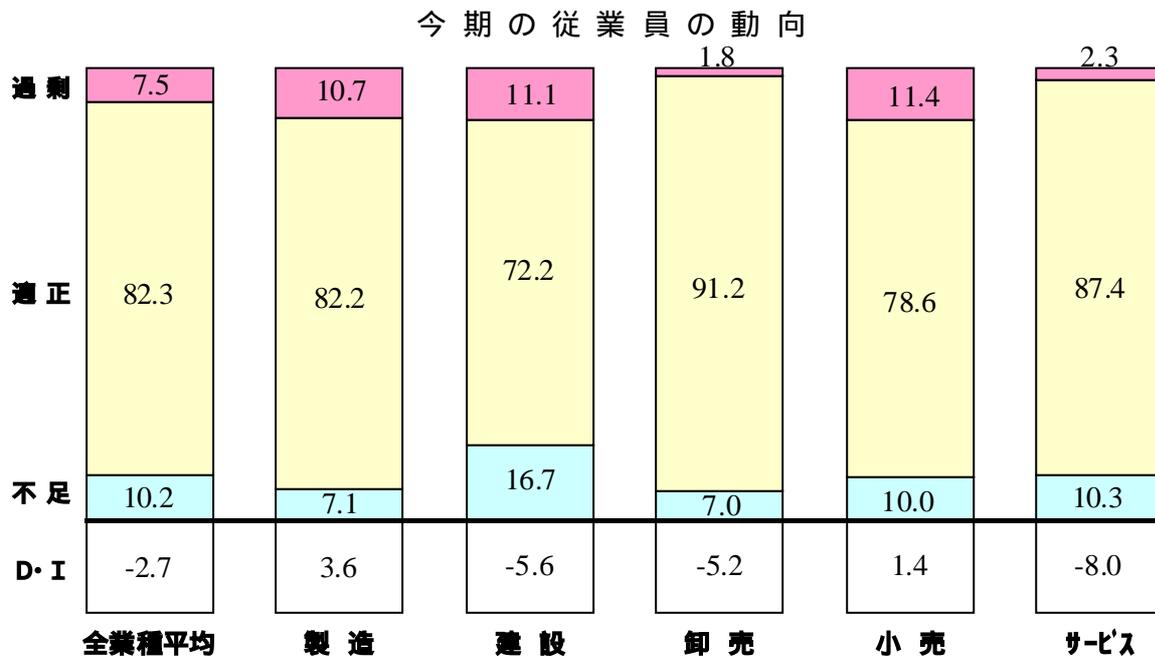
全業種平均でD・I値 **28.8**〔前回調査時（平成23年7～9月期 27.3）より1.5ポイントマイナス幅が拡大〕。総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 23.7 25.8〕、建設〔前回 21.4 28.8〕
卸売〔前回 32.3 29.0〕、小売〔前回 29.1 29.1〕
サービス〔前回 29.9 31.2〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(39.5%) [前回 34.6%]
	「原材料価格の上昇」	(22.6%) [前回 16.4%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(11.3%) [前回 12.7%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(35.0%) [前回 20.9%]
	「官公需要の停滞」	(31.8%) [前回 31.2%]
	「民間需要の停滞」	(16.7%) [前回 22.4%]
卸売業	「需要の停滞」	(55.4%) [前回 68.2%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(6.9%) [前回 3.5%]
小売業	「需要の停滞」	(28.3%) [前回 40.2%]
	「大型店・中型店進出競争の激化」	(16.9%) [前回 18.9%]
	「仕入単価上昇」	(12.7%) [前回 4.1%]
サービス業	「需要の停滞」	(36.9%) [前回 42.4%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(14.3%) [前回 12.2%]

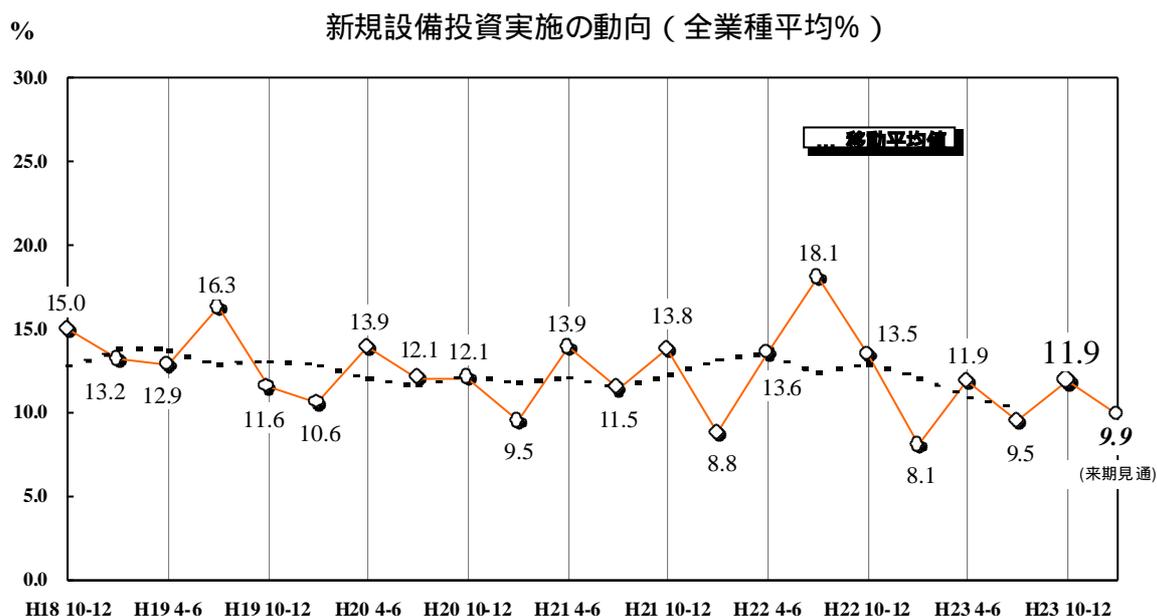
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 2.7〔前回調査時（平成23年7～9月期 6.0）〕と、適正と回答する企業が増加している。

[業種別D・I値] 製造〔前回 5.1 3.6〕（適正82.2%）
 建設〔前回 10.7 5.6〕（適正72.2%）
 卸売〔前回 3.5 5.2〕（適正91.2%）
 小売〔前回 11.1 1.4〕（適正78.6%）
 サービス〔前回 10.0 8.0〕（適正87.4%）

(7) 今期の新規設備投資



（単位％）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	17.9	13.7	3.2	7.6	17.0	11.9
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
工場建物、建物、店舗	20.0	10.0	0.0	50.0	18.8	19.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	30.0	10.0	0.0	33.3	18.8	18.4
車両運搬具	20.0	60.0	100.0	16.7	25.0	44.3
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	20.0	0.0	16.7	18.8	15.1
O A 機器	10.0	40.0	50.0	16.7	43.8	32.1
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	2.5
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	2.5
実施していない	82.1	86.3	96.8	92.4	83.0	88.1

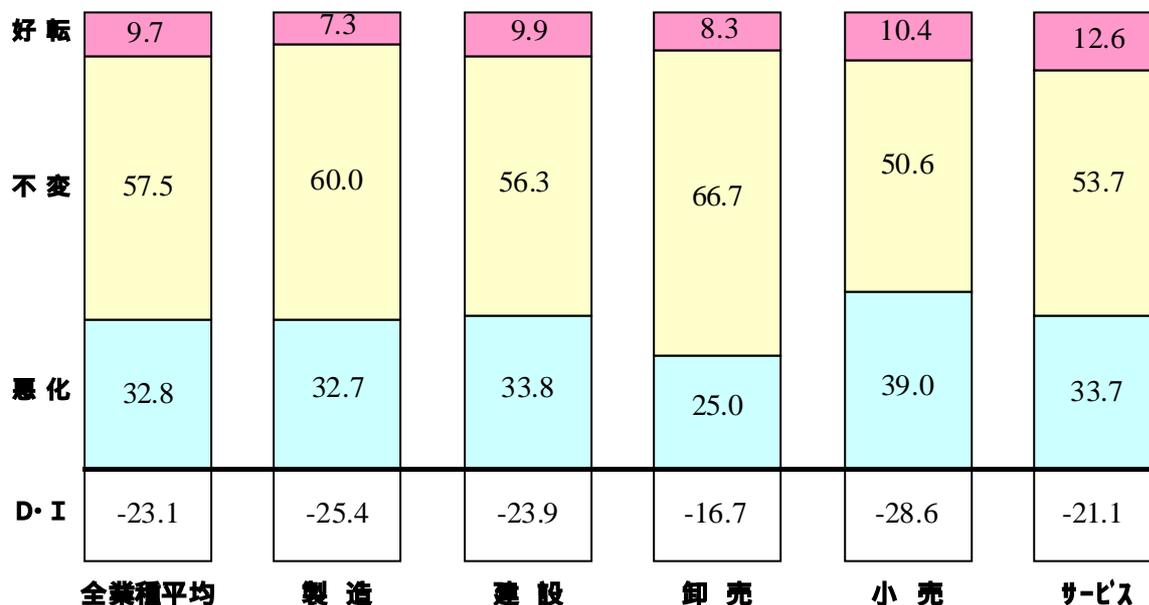
新たに設備投資を実施した企業は平均で11.9%〔前回調査時（平成23年7～9月期9.5%）〕、業種別では製造〔前回10.3% 17.9%〕、建設〔前回6.8% 13.7%〕、卸売〔前回3.2% 3.2%〕、小売〔前回11.7% 7.6%〕、サービス〔前回15.3% 17.0%〕と、前回調査に比べ設備投資を実施した企業は増加した。

2. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成23年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

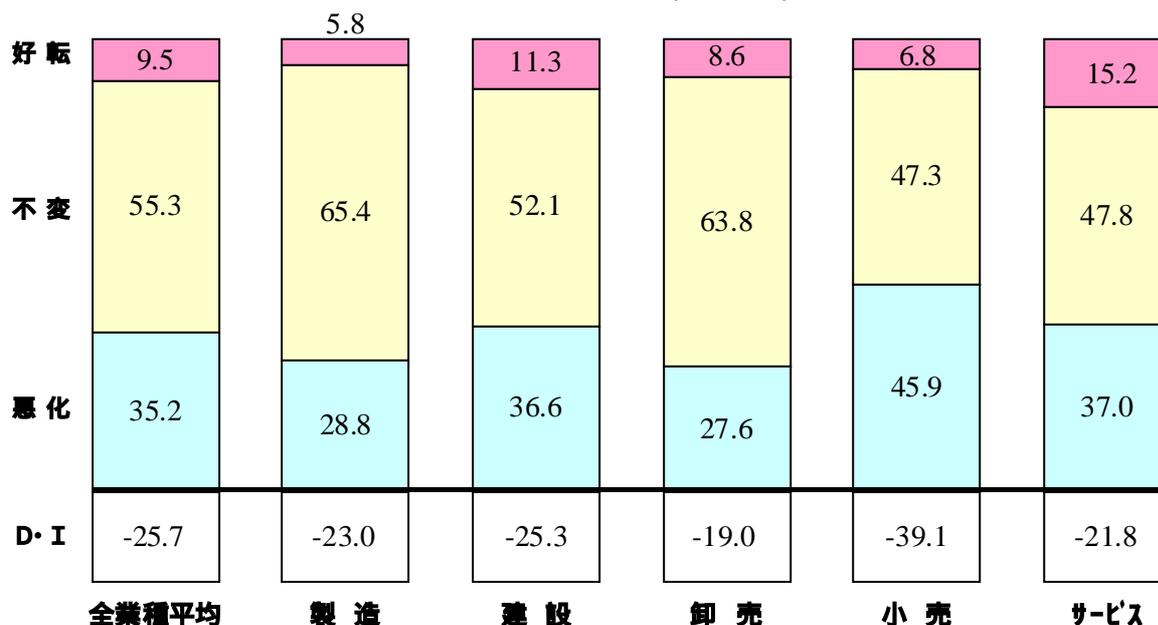
来期の業況見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **23.1**〔今期の業況（前年同期比 30.9）より7.8ポイントマイナス幅が縮小〕と、一部持ち直しの動きが見られる。

【今期比】（平成23年10～12月期の水準と比較した来期の見通し）

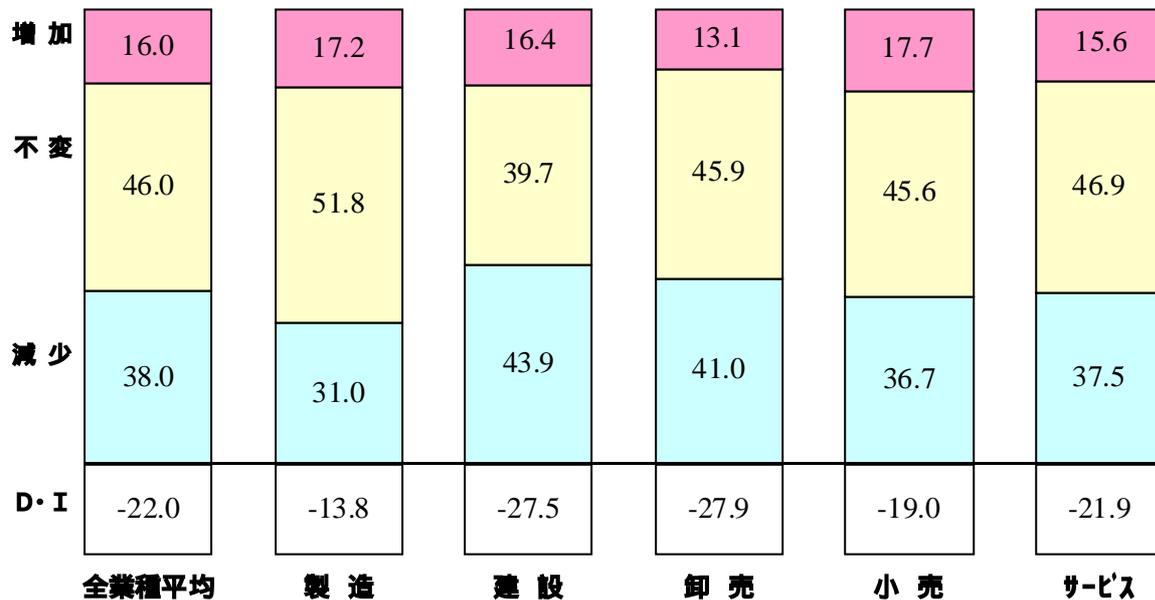
来期の業況見通し（今期比）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成23年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

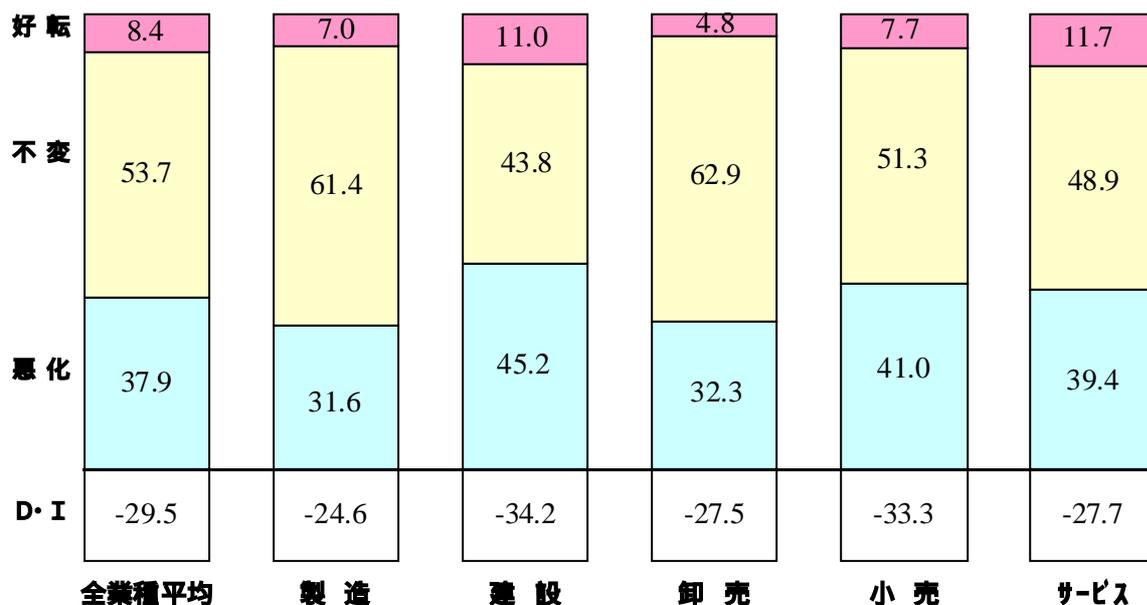


全業種平均でD・I値 22.0〔今期の売上高（前年同期比 28.7）より6.7ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成23年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 29.5〔今期の採算（前年同期比 34.7）より5.2ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

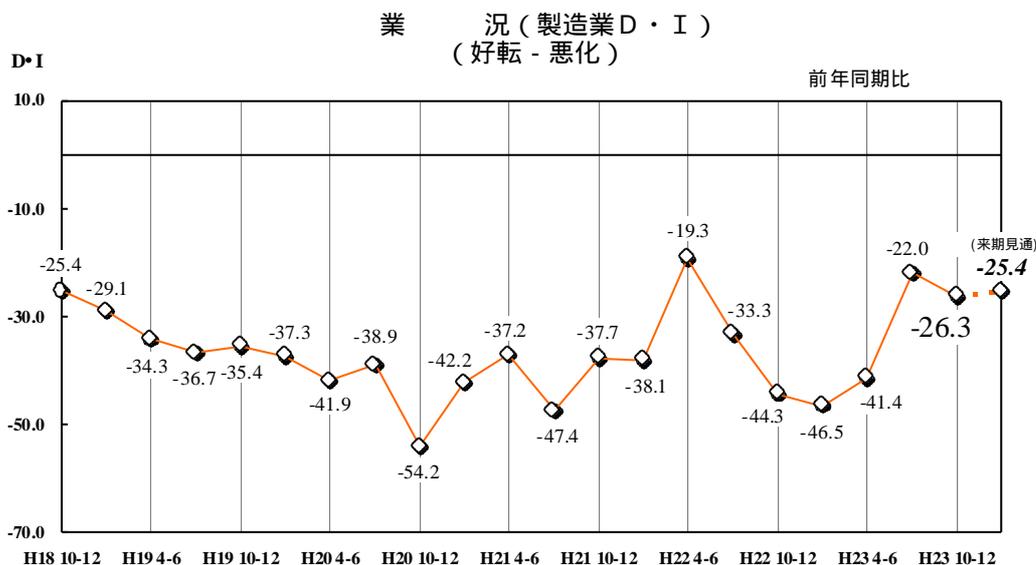
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	7.3	9.6	9.7	10.1	12.8	9.9
土地	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	6.7
工場建物、建物、店舗	25.0	0.0	16.7	37.5	16.7	19.2
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	28.6	0.0	12.5	33.3	24.9
車両運搬具	75.0	28.6	16.7	0.0	16.7	27.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	14.3	0.0	25.0	25.0	12.9
OA機器	25.0	57.1	50.0	50.0	50.0	46.4
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	1.7
その他	25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	11.7
実施しない	92.7	90.4	90.3	89.9	87.2	90.1

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**9.9%**となっており、今期(11.9%)を下回る見通し。

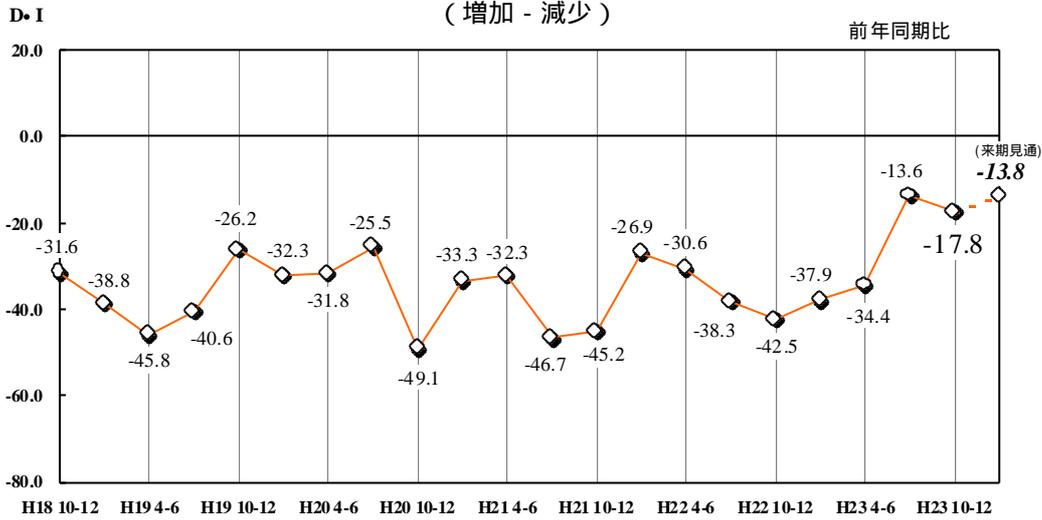
業種別では、製造〔今期17.9% 7.3%〕、建設〔今期13.7% 9.6%〕、卸売〔今期3.2% 9.7%〕、小売〔今期7.6% 10.1%〕、サービス〔今期17.0% 12.8%〕となっている。

業種別の動向

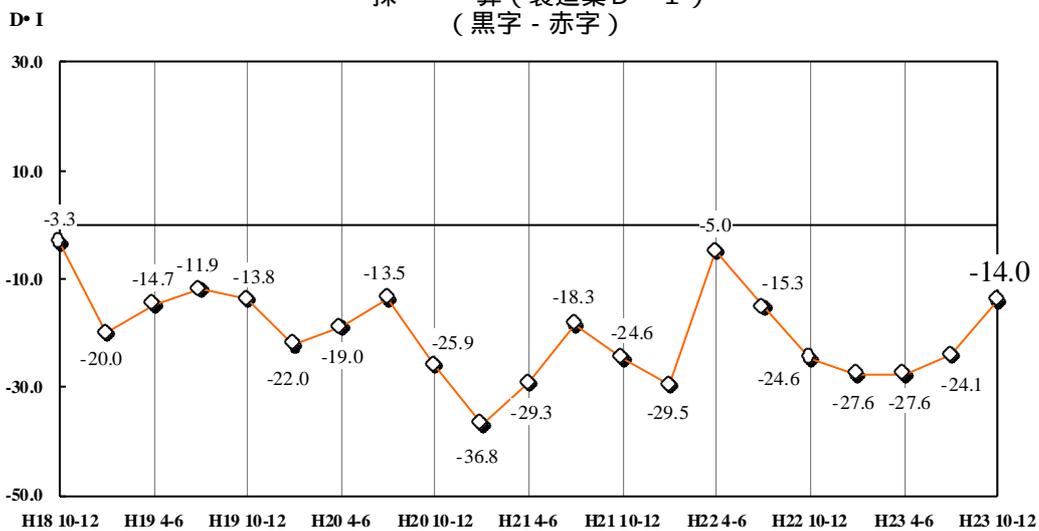
(1) 製造業



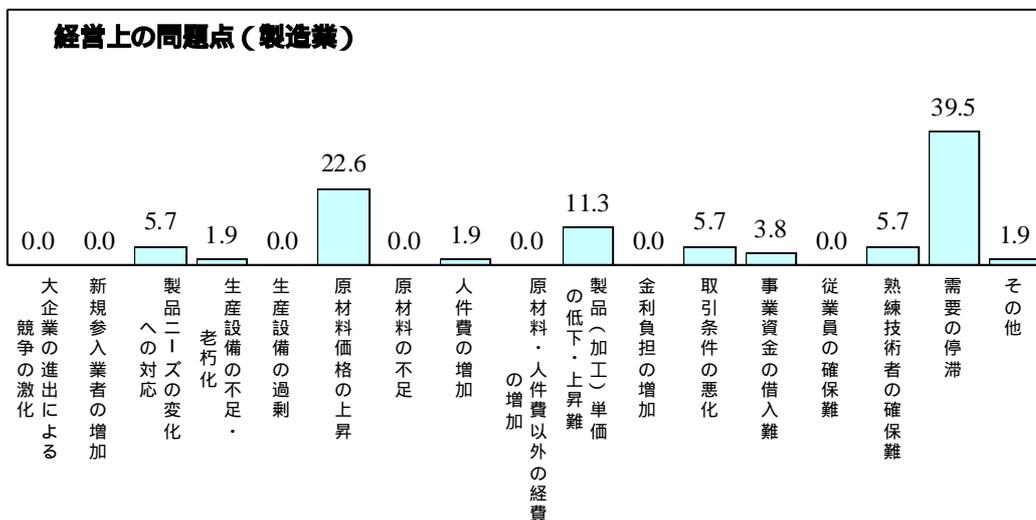
売上高(製造業D・I)
(増加-減少)



採算(製造業D・I)
(黒字-赤字)



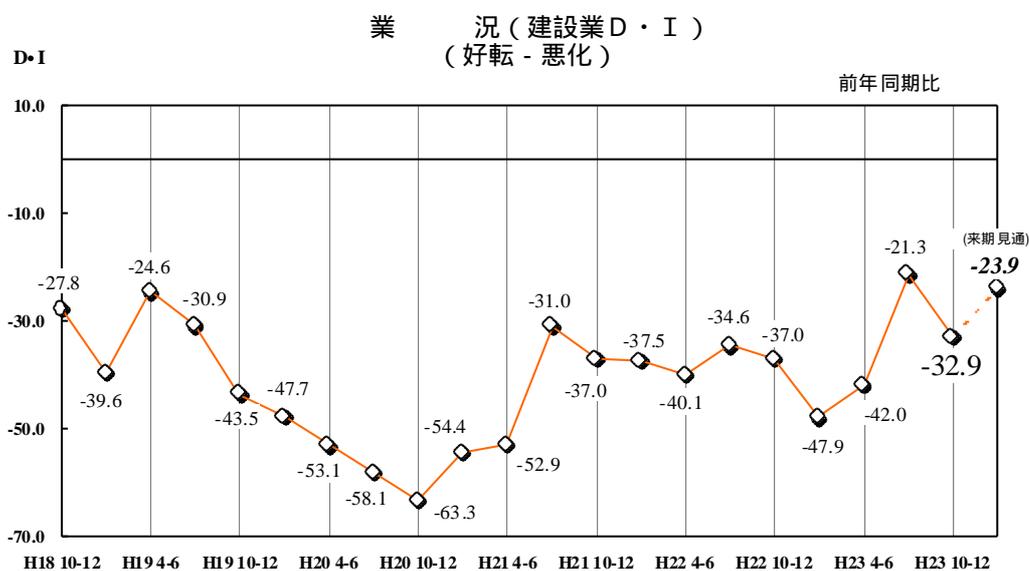
経営上の問題点



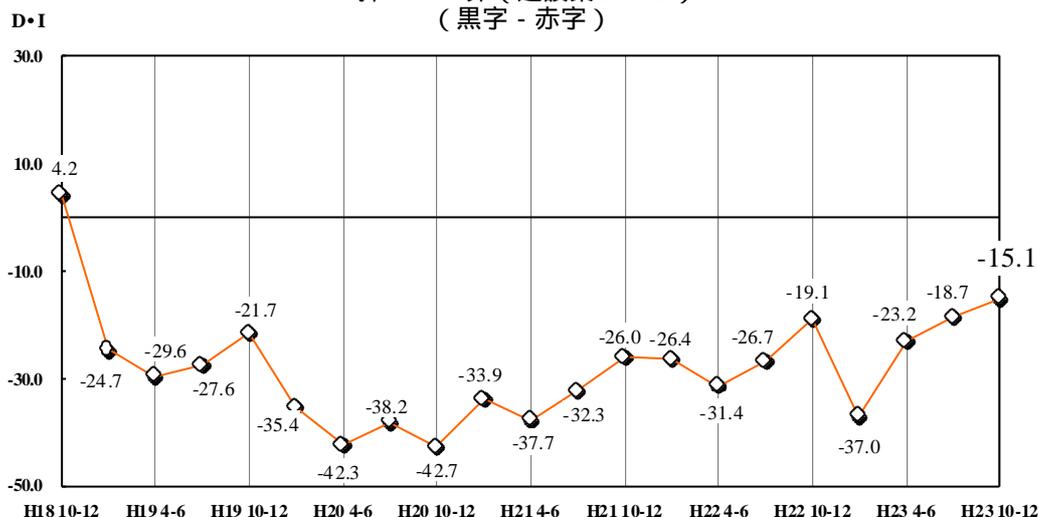
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	25.8	19.3	17.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.0	14.0 (今期比)
短期 "	-----	8.1	8.2 (今期比)
設 備 操 業 率	15.5	-----	19.3 (前年同期比)

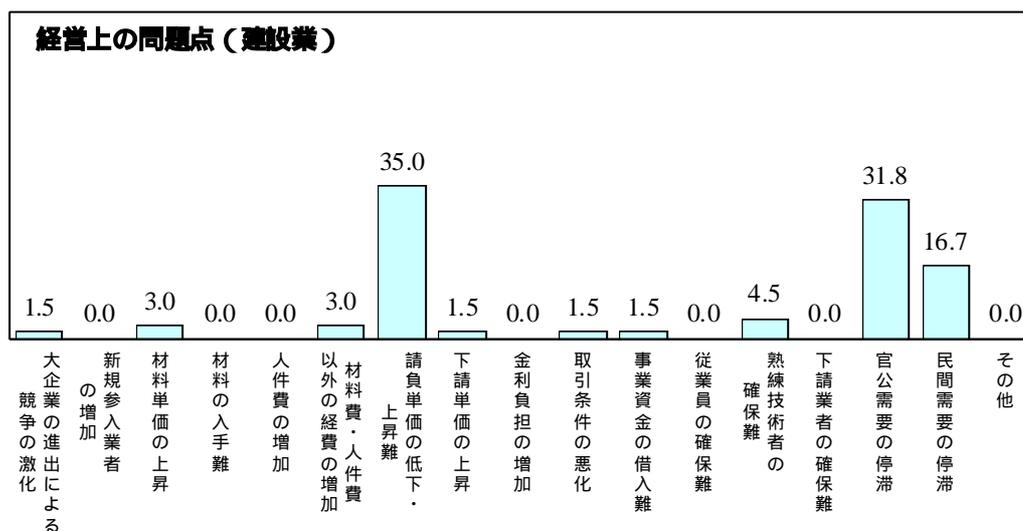
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)
(黒字 - 赤字)



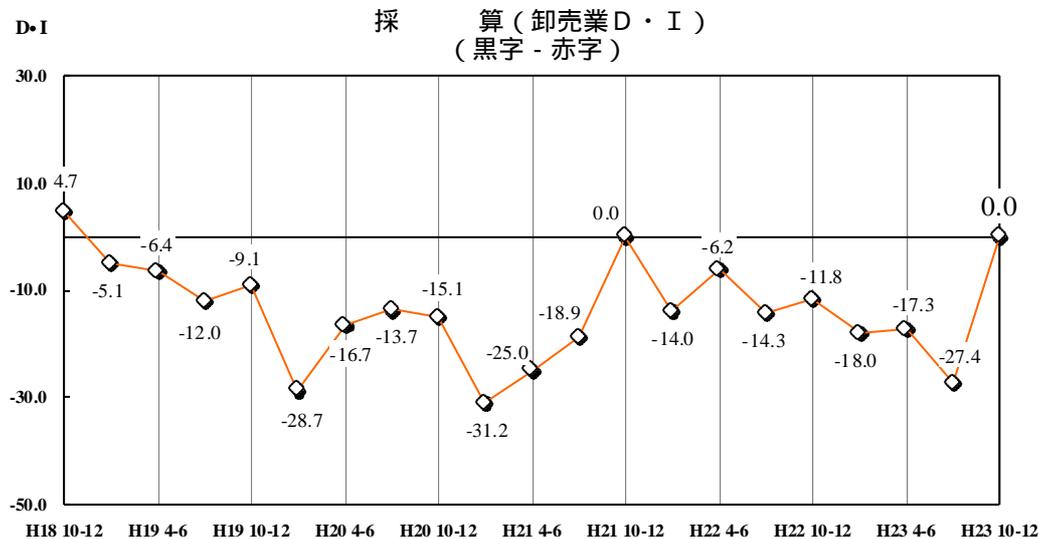
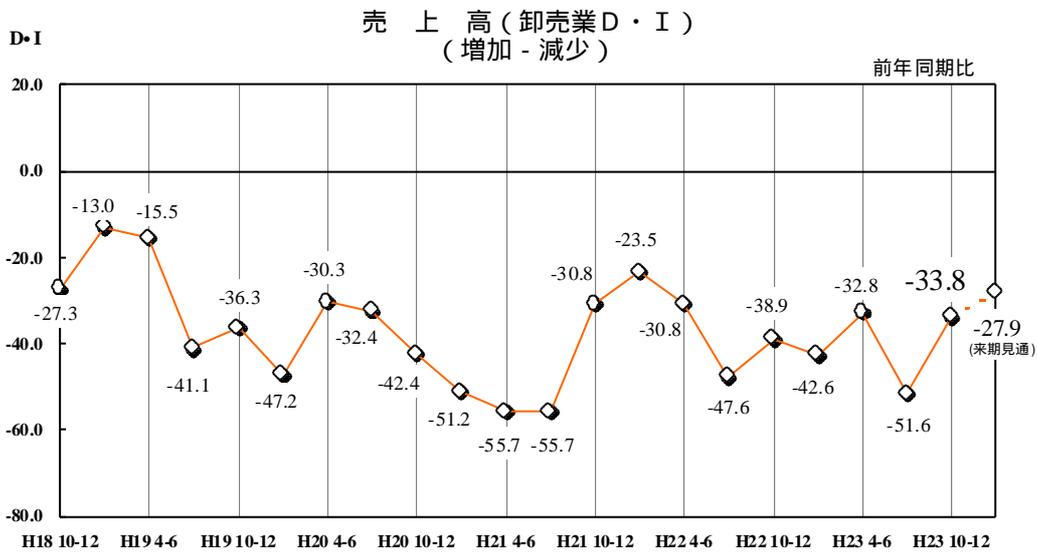
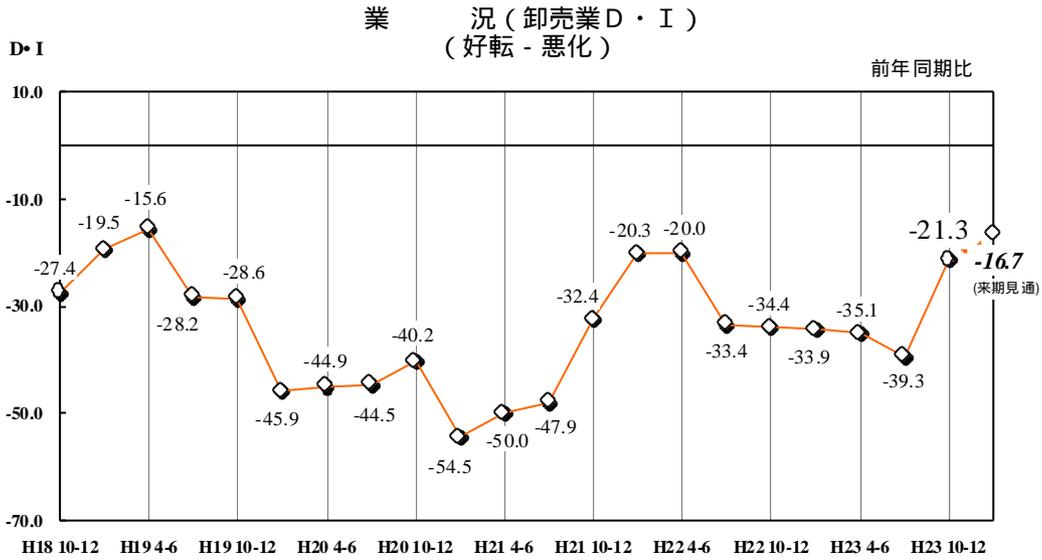
経営上の問題点



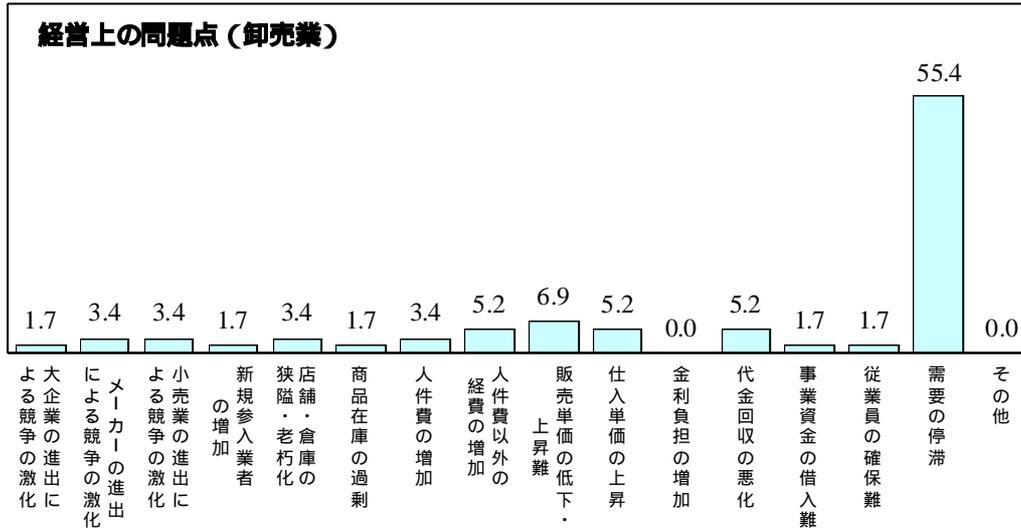
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	28.8	9.6	27.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	10.3	10.3 (今期比)
短期 "	-----	1.6	3.1 (今期比)
受注(新規契約工事)額	38.46	-----	32.0 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



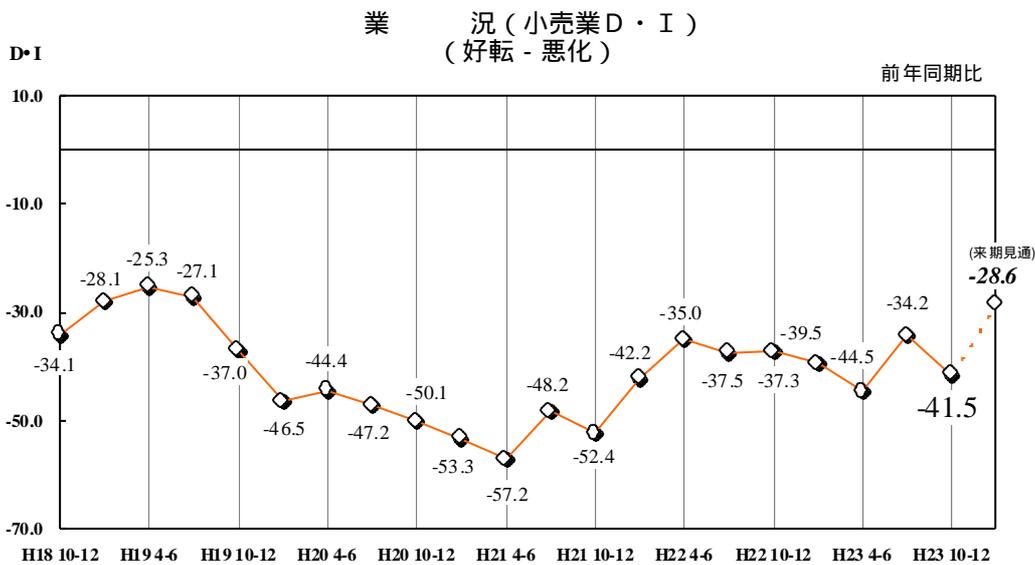
経営上の問題点

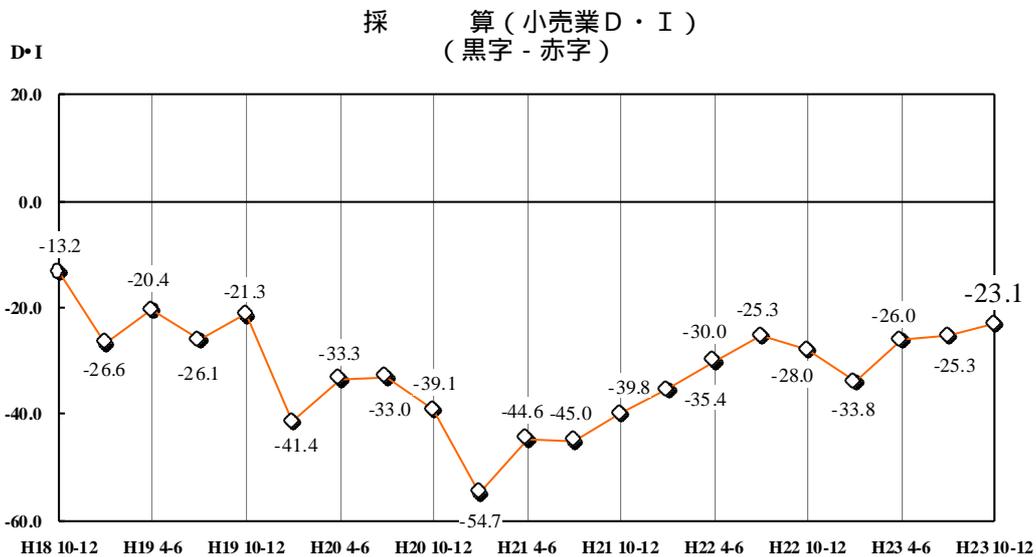
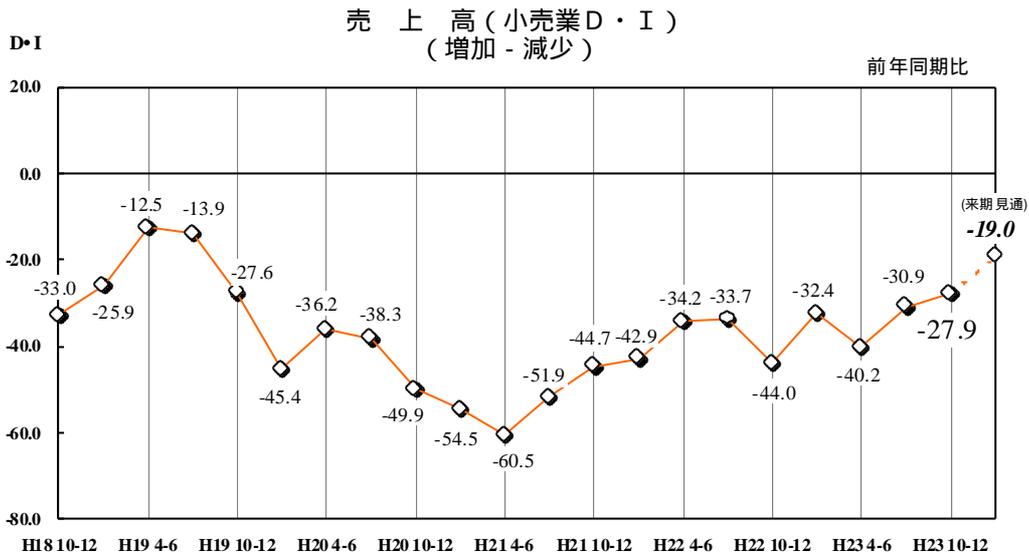


その他（D・I値）

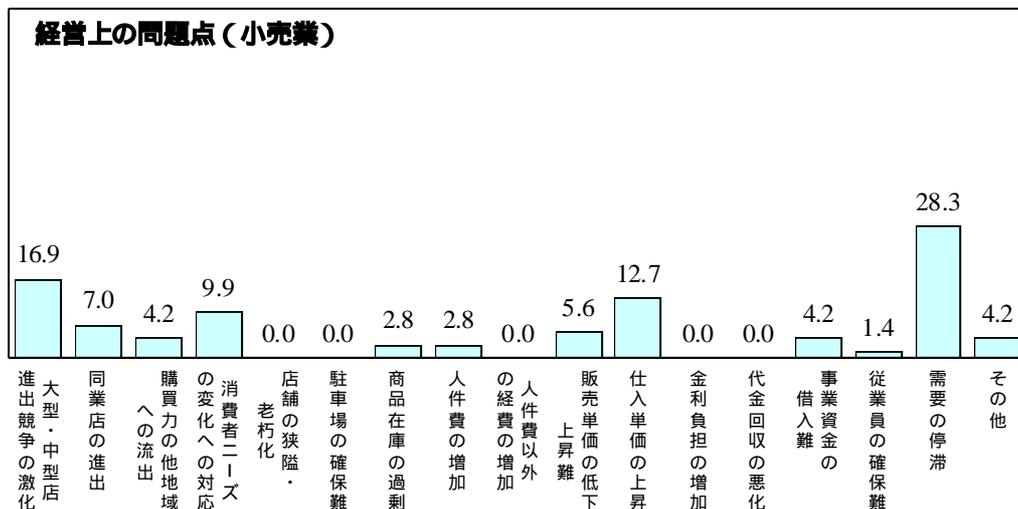
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	29.0	21.0	22.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	7.0	7.1 (今期比)
短期 "	-----	3.7	3.6 (今期比)
商品在庫数量	11.7	-----	18.1 (前年同期比)

(4) 小 売 業





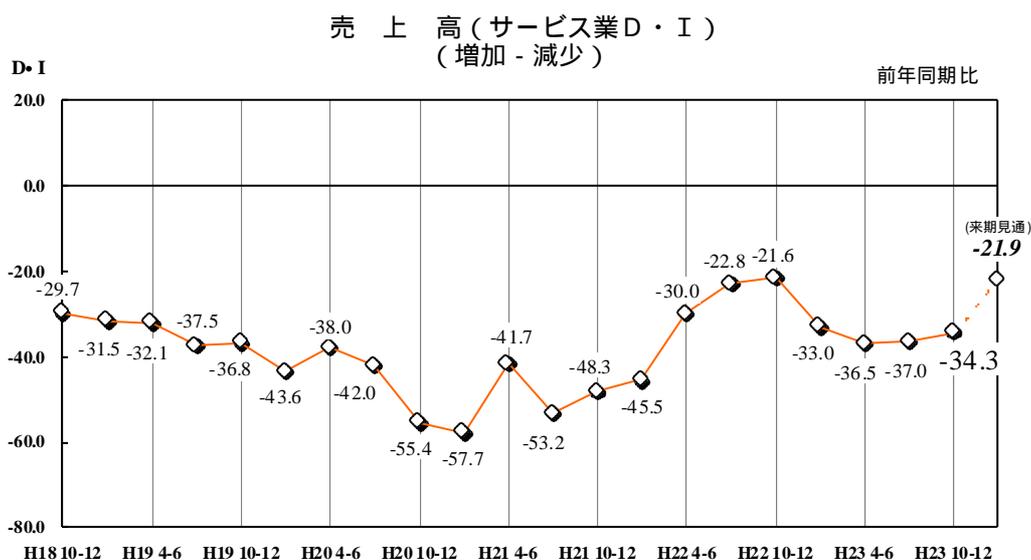
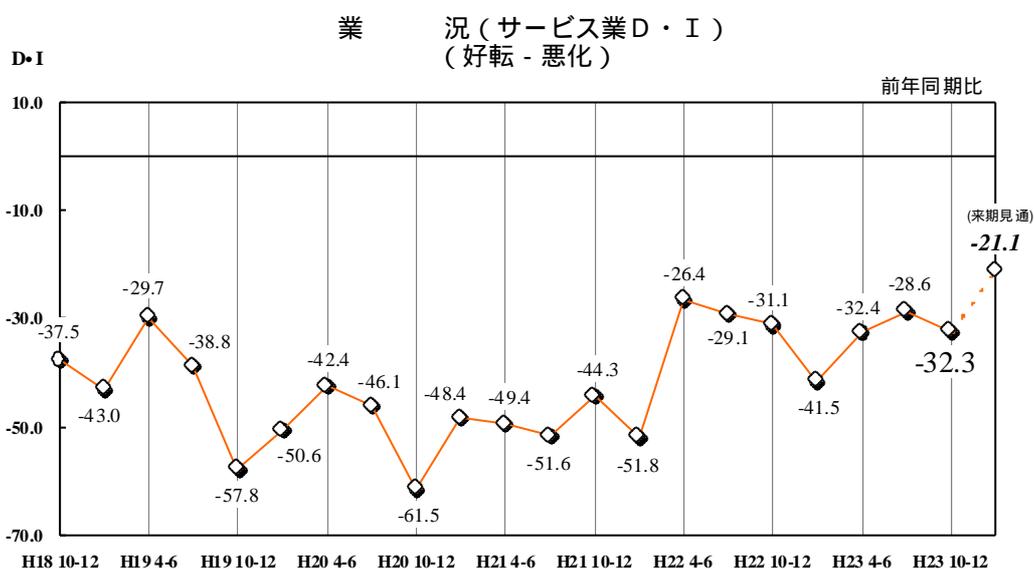
経営上の問題点

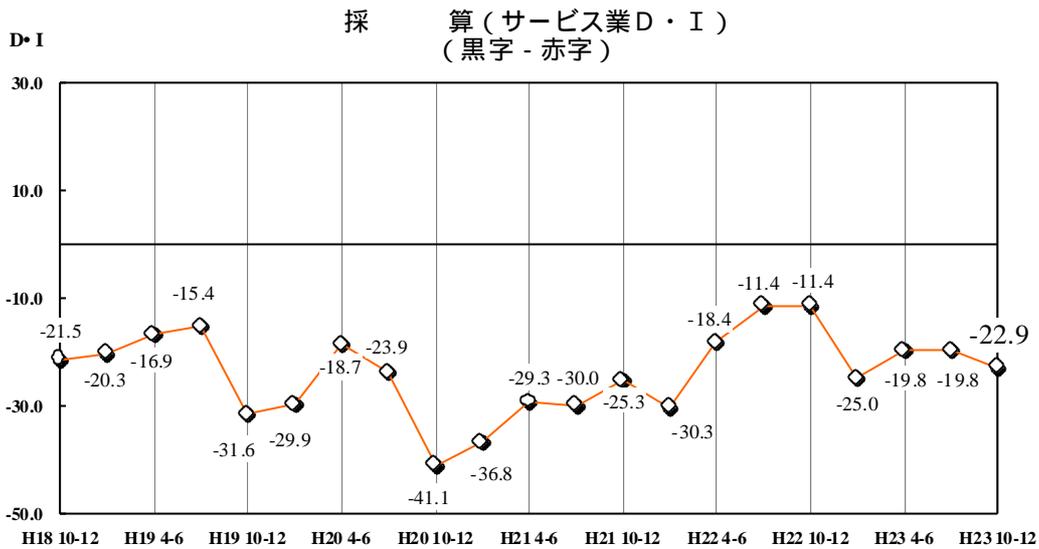


その他 (D・I値)

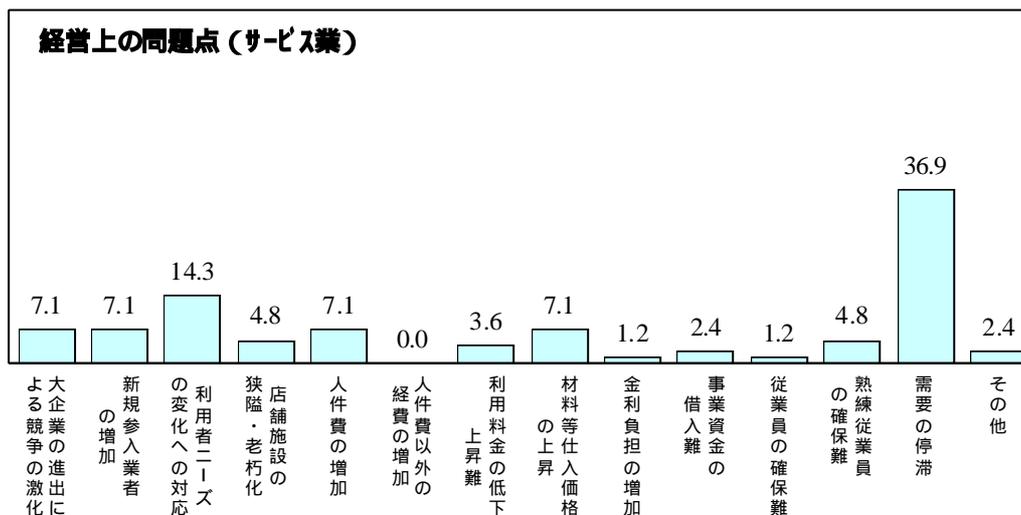
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	29.1	20.2	22.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.9	12.7 (今期比)
短期 "	-----	11.6	13.8 (今期比)
商品在庫数量	13.9	-----	19.0 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	31.2	23.7	18.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	16.6	16.6 (今期比)
短期 "	-----	10.6	14.5 (今期比)
利 用 客 数	31.9	22.3	19.3 (前年同期比)

業種別調査資料

製造業 全体

1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期(前年同期比)					来期(対前年同期比来期見通し)				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上(加工)額	58	17.2	48.3	34.5	-17.3	58	17.2	51.8	31.0	-13.8
売上(加工)単価	58	1.7	70.7	27.6	-25.9	56	3.6	69.6	26.8	-23.2
売上(加工)数量	58	15.5	48.3	36.2	-20.7	57	12.3	57.9	29.8	-17.5
資金繰り	58	5.2	63.8	31.0	-25.8	57	8.8	64.9	26.3	-17.5
輸出額	3	0.0	100.0	0.0	0.0	4	50.0	50.0	0.0	50.0
原材料仕入単価	56	66.1	32.1	1.8	64.3	56	51.8	48.2	0.0	51.8
原材料在庫数量	54	1.9	74.0	24.1	-22.2	54	3.7	77.8	18.5	-14.8
製品在庫数量	51	3.9	76.5	19.6	-15.7	51	7.8	72.6	19.6	-11.8
採算(経常利益)	57	8.8	52.6	38.6	-29.8	57	7.0	61.4	31.6	-24.6
従業員(含臨時・パート)	55	7.3	70.9	21.8	-14.5	55	1.8	76.4	21.8	-20.0
外部人材(請負・派遣)	28	10.7	85.7	3.6	7.1	28	10.7	82.2	7.1	3.6
設備操業率	54	11.1	63.0	25.9	-14.8	54	7.4	66.7	25.9	-18.5
引合	52	13.5	55.7	30.8	-17.3					
受注	52	3.8	63.5	32.7	-28.9					
業況(自社)	57	10.5	52.7	36.8	-26.3	55	7.3	60.0	32.7	-25.4

	今期(前期比)					来期(対当期比見通し)				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上(加工)額	58	27.6	39.6	32.8	-5.2					
売上(加工)単価	58	1.7	81.1	17.2	-15.5					
売上(加工)数量	58	24.1	43.1	32.8	-8.7					
資金繰り	57	3.5	73.7	22.8	-19.3					
業況(自社)	57	12.3	57.9	29.8	-17.5	52	5.8	65.4	28.8	-23.0
受取手形期間	39	2.6	97.4	0.0	2.6	38	0.0	100.0	0.0	0.0
長期資金借入難度	50	6.0	76.0	18.0	-12.0	50	4.0	78.0	18.0	-14.0
短期資金借入難度(含手形割引)	49	4.1	83.7	12.2	-8.1	49	2.0	87.8	10.2	-8.2
借入金	50	2.0	90.0	8.0	-6.0	50	2.0	96.0	2.0	0.0

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況(自社)	58	6.9	63.8	29.3	-22.4
生産に対する原材料在庫	55	5.5	94.5	0.0	5.5
売上に対する製品在庫	52	7.7	86.5	5.8	1.9
採算(経常利益)	57	15.8	54.4	29.8	-14.0
引き合い	56	7.1	60.8	32.1	-25.0
生産設備	55	10.9	83.6	5.5	5.4
従業員(含臨時・パート)	56	10.7	82.2	7.1	3.6

上2表

↗ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
 → : 不変
 ↘ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

↗ : 良い・過剰・黒字・活発
 → : ふつう・適正・収支トントン・ふつう
 ↘ : 悪い・不足・赤字・低調

2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	実施・計画していない								
			土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	56	17.9	0.0	20.0	30.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	82.1
来期	55	7.3	25.0	25.0	50.0	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	92.7

3. 経営上の問題点

企業数	53	1位	2位	3位	1~3位
経営上の問題点					
大企業の進出による競争の激化		0.0	1.9	3.8	5.7
新規参入業者の増加		0.0	0.0	0.0	0.0
製品ニーズの変化への対応		5.7	11.3	5.7	22.6
生産設備の不足・老朽化		1.9	3.8	9.4	15.1
生産設備の過剰		0.0	0.0	0.0	0.0
原材料価格の上昇		22.6	18.9	11.3	52.8
原材料の不足		0.0	0.0	0.0	0.0
人件費の増加		1.9	7.5	3.8	13.2
原材料・人件費以外の経費の増加		0.0	1.9	3.8	5.7
製品(加工)単価の低下・上昇難		11.3	15.1	9.4	35.8
金利負担の増加		0.0	0.0	0.0	0.0
取引条件の悪化		5.7	9.4	0.0	15.1
事業資金の借入難		3.8	3.8	0.0	7.5
従業員の確保難		0.0	3.8	1.9	5.7
熟練技術者の確保難		5.7	0.0	7.5	13.2
需要の停滞		39.6	15.1	11.3	66.0
その他		1.9	0.0	1.9	3.8

建設業 全体

1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
完成工事（請負工事）額	72	15.3	38.9	45.8	-30.5	73	16.4	39.7	43.9	-27.5
資金繰り	73	2.7	65.8	31.5	-28.8	73	5.5	61.6	32.9	-27.4
受注（新規契約工事）額	73	9.6	42.5	47.9	-38.3	72	9.7	48.6	41.7	-32.0
材料仕入単価	72	33.3	65.3	1.4	31.9	73	24.7	73.9	1.4	23.3
採算（経常利益）	73	12.3	37.0	50.7	-38.4	73	11.0	43.8	45.2	-34.2
従業員（含臨時・パート）	72	9.7	80.6	9.7	0.0	71	2.8	90.2	7.0	-4.2
外部人材（請負・派遣）	60	10.0	71.7	18.3	-8.3	62	4.8	75.8	19.4	-14.6
引合	67	9.0	47.7	43.3	-34.3					
受注残（未消化工事高）	70	7.1	47.2	45.7	-38.6					
業況（自社）	73	8.2	50.7	41.1	-32.9	71	9.9	56.3	33.8	-23.9

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
完成工事（請負工事）額	73	23.3	42.5	34.2	-10.9					
資金繰り	73	8.2	74.0	17.8	-9.6					
業況（自社）	70	5.7	65.7	28.6	-22.9	71	11.3	52.1	36.6	-25.3
受取手形期間	56	3.6	96.4	0.0	3.6	56	1.8	98.2	0.0	1.8
長期資金借入難度	68	4.4	80.9	14.7	-10.3	68	4.4	80.9	14.7	-10.3
短期資金借入難度（含手形割引）	64	7.8	82.8	9.4	-1.6	64	7.8	81.3	10.9	-3.1
借入金金利	68	2.9	88.3	8.8	-5.9	67	3.0	92.5	4.5	-1.5

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	73	17.8	41.1	41.1	-23.3
採算（経常利益）	73	12.3	60.3	27.4	-15.1
引合	68	10.3	48.5	41.2	-30.9
従業員（含臨時・パート）	72	11.1	72.2	16.7	-5.6

上2表

↗ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
 → : 不変
 ↘ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

↗ : 良い・過剰・黒字・活発
 → : ふつう・適正・収支トントン・ふつう
 ↘ : 悪い・不足・赤字・低調

2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	実施・計画していない								
			土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	73	13.7	0.0	10.0	10.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	86.3
来期	73	9.6	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	90.4

3. 経営上の問題点

企業数	66				
経営上の問題点	1位	2位	3位	1～3位	
大企業の進出による競争の激化	1.5	3.0	3.0	7.6	
新規参入業者の増加	0.0	1.5	3.0	4.5	
材料単価の上昇	3.0	4.5	6.1	13.6	
材料の入手難	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費の増加	0.0	1.5	1.5	3.0	
材料費・人件費以外の経費の増加	3.0	3.0	3.0	9.1	
請負単価の低下・上昇難	34.8	15.2	22.7	72.7	
下請単価の上昇	1.5	1.5	0.0	3.0	
金利負担の増加	0.0	0.0	1.5	1.5	
取引条件の悪化	1.5	3.0	4.5	9.1	
事業資金の借入難	1.5	4.5	1.5	7.6	
従業員の確保難	0.0	4.5	4.5	9.1	
熟練技術者の確保難	4.5	1.5	6.1	12.1	
下請業者の確保難	0.0	4.5	7.6	12.1	
官公需要の停滞	31.8	10.6	6.1	48.5	
民間需要の停滞	16.7	30.3	6.1	53.0	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	

卸売業 全体

1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上額	62	21.0	24.2	54.8	-33.8	61	13.1	45.9	41.0	-27.9
売上単価	62	16.1	59.7	24.2	-8.1	61	9.8	68.9	21.3	-11.5
資金繰り	62	6.5	58.0	35.5	-29.0	61	3.3	70.5	26.2	-22.9
商品仕入単価	62	35.5	53.2	11.3	24.2	61	29.5	62.3	8.2	21.3
商品仕入数量	62	16.1	42.0	41.9	-25.8	62	9.7	58.0	32.3	-22.6
商品在庫数量	60	13.3	61.7	25.0	-11.7	61	4.9	72.1	23.0	-18.1
採算（経常利益）	62	9.7	51.6	38.7	-29.0	62	4.8	62.9	32.3	-27.5
従業員（含臨時・パート）	57	7.0	84.2	8.8	-1.8	57	3.5	89.5	7.0	-3.5
外部人材（請負・派遣）	43	2.3	90.7	7.0	-4.7	41	2.4	92.7	4.9	-2.5
引き合い	57	12.3	47.3	40.4	-28.1					
業況（自社）	61	13.1	52.5	34.4	-21.3	60	8.3	66.7	25.0	-16.7

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上額	62	33.9	30.6	35.5	-1.6					
売上単価	62	11.3	72.6	16.1	-4.8					
資金繰り	62	4.8	69.4	25.8	-21.0					
業況（自社）	58	15.5	62.1	22.4	-6.9	58	8.6	63.8	27.6	-19.0
受取手形期間	48	4.2	93.7	2.1	2.1	47	2.1	93.6	4.3	-2.2
長期資金借入難度	57	5.3	82.4	12.3	-7.0	56	1.8	89.3	8.9	-7.1
短期資金借入難度（含手形割引）	55	3.6	89.1	7.3	-3.7	56	1.8	92.8	5.4	-3.6
借入金利率	57	0.0	91.2	8.8	-8.8	57	0.0	93.0	7.0	-7.0

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	62	11.3	45.2	43.5	-32.2
売上に対する商品在庫	61	14.8	81.9	3.3	11.5
採算（経常利益）	62	27.4	45.2	27.4	0.0
引き合い	60	5.0	50.0	45.0	-40.0
従業員（含臨時・パート）	57	1.8	91.2	7.0	-5.2

上2表

- ↗ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
- : 不変
- ↘ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗ : 良い・過剰・黒字・活発
- : ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘ : 悪い・不足・赤字・低調

2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	実施・計画していない								
			土地	店舗	倉庫	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	62	3.2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	96.8
来期	62	9.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	33.3	90.3

3. 経営上の問題点

企業数	58			
経営上の問題点	1位	2位	3位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	1.7	1.7	1.7	5.2
メーカーの進出による競争の激化	3.4	0.0	1.7	5.2
小売業の進出による競争の激化	3.4	3.4	1.7	8.6
新規参入業者の増加	1.7	0.0	1.7	3.4
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3.4	0.0	1.7	5.2
商品在庫の過剰	1.7	3.4	0.0	5.2
人件費の増加	3.4	3.4	0.0	6.9
原材料・人件費以外の経費の増加	5.2	5.2	6.9	17.2
販売単価の低下・上昇難	6.9	22.4	17.2	46.6
仕入単価の上昇	5.2	15.5	5.2	25.9
金利負担の増加	0.0	3.4	1.7	5.2
代金回収の悪化	5.2	12.1	5.2	22.4
事業資金の借入難	1.7	3.4	1.7	6.9
従業員の確保難	1.7	1.7	1.7	5.2
需要の停滞	55.2	8.6	19.0	82.8
その他	0.0	0.0	1.7	1.7

小 売 業 全 体

1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上額	79	17.7	36.7	45.6	-27.9	79	17.7	45.6	36.7	-19.0
客単価	79	17.7	45.6	36.7	-19.0	79	13.9	55.7	30.4	-16.5
客数	79	15.2	39.2	45.6	-30.4	79	15.2	49.4	35.4	-20.2
資金繰り	79	1.3	68.3	30.4	-29.1	79	5.1	67.1	27.8	-22.7
商品仕入単価	78	30.8	55.1	14.1	16.7	78	20.5	66.7	12.8	7.7
商品仕入額	78	28.2	38.5	33.3	-5.1	78	17.9	48.8	33.3	-15.4
商品在庫数量	79	11.4	63.3	25.3	-13.9	79	6.3	68.4	25.3	-19.0
採算（経常利益）	79	8.9	45.5	45.6	-36.7	78	7.7	51.3	41.0	-33.3
従業員（含臨時・パート）	71	7.0	84.5	8.5	-1.5	71	7.0	77.5	15.5	-8.5
外部人材（請負・派遣）	45	4.4	88.9	6.7	-2.3	44	2.3	90.9	6.8	-4.5
業況（自社）	77	9.1	40.3	50.6	-41.5	77	10.4	50.6	39.0	-28.6

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上額	79	25.3	34.2	40.5	-15.2					
客単価	79	19.0	49.4	31.6	-12.6					
客数	79	25.3	40.5	34.2	-8.9					
資金繰り	79	7.6	64.6	27.8	-20.2					
業況（自社）	76	11.8	52.7	35.5	-23.7	74	6.8	47.3	45.9	-39.1
長期資金借入難度	67	1.5	82.1	16.4	-14.9	63	3.2	80.9	15.9	-12.7
短期資金借入難度（含手形割引）	60	1.7	85.0	13.3	-11.6	58	1.7	82.8	15.5	-13.8
借入金利率	66	3.0	90.9	6.1	-3.1	64	3.1	90.6	6.3	-3.2

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	78	10.3	39.7	50.0	-39.7
売上に対する原材料在庫	77	13.0	75.3	11.7	1.3
採算（経常利益）	78	12.8	51.3	35.9	-23.1
従業員（含臨時・パート）	70	11.4	78.6	10.0	1.4

上2表

- ↗ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
- : 不変
- ↘ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗ : 良い・過剰・黒字・活発
- : ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘ : 悪い・不足・赤字・低調

2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	実施・計画していない								
			土地	店舗	販売設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	79	7.6	0.0	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	92.4
来期	79	10.1	0.0	37.5	12.5	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	89.9

3. 経営上の問題点

企業数	71				
経営上の問題点	1位	2位	3位	1~3位	
大・中型店の進出による競争の激化	16.9	8.5	7.0	32.4	
同業者の進出	7.0	7.0	0.0	14.1	
購買力の他地域への流出	4.2	9.9	5.6	19.7	
消費者ニーズの変化への対応	9.9	7.0	4.2	21.1	
店舗の狭隘・老朽化	0.0	1.4	4.2	5.6	
駐車場の確保難	0.0	4.2	1.4	5.6	
商品在庫の過剰	2.8	2.8	0.0	5.6	
人件費の増加	2.8	5.6	2.8	11.3	
人件費以外の経費の増加	0.0	2.8	5.6	8.5	
販売単価の低下・上昇難	5.6	14.1	8.5	28.2	
仕入単価の上昇	12.7	4.2	5.6	22.5	
金利負担の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	
代金回収の悪化	0.0	1.4	1.4	2.8	
事業資金の借入難	4.2	1.4	1.4	7.0	
従業員の確保難	1.4	1.4	2.8	5.6	
需要の停滞	28.2	12.7	16.9	57.7	
その他	4.2	2.8	0.0	7.0	

サービス業 全体

1. 売上・採算・資金繰り等の状況

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上（収入）額	96	14.6	36.5	48.9	-34.3	96	15.6	46.9	37.5	-21.9
客単価	96	4.2	63.5	32.3	-28.1	96	4.2	69.8	26.0	-21.8
利用客数	94	11.7	44.7	43.6	-31.9	93	15.1	50.5	34.4	-19.3
資金繰り	93	3.2	62.4	34.4	-31.2	91	8.8	63.7	27.5	-18.7
仕入単価（材料等）	93	34.4	60.2	5.4	29.0	92	31.5	64.2	4.3	27.2
採算（経常利益）	96	9.4	41.7	48.9	-39.5	94	11.7	48.9	39.4	-27.7
従業員（含臨時・パート）	86	11.6	72.1	16.3	-4.7	86	4.7	86.0	9.3	-4.6
外部人材（請負・派遣）	65	7.7	76.9	15.4	-7.7	65	7.7	83.1	9.2	-1.5
業況（自社）	96	8.3	51.1	40.6	-32.3	95	12.6	53.7	33.7	-21.1

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上（収入）額	96	14.6	42.7	42.7	-28.1					
客単価	96	6.3	67.7	26.0	-19.7					
利用客数	94	12.8	52.1	35.1	-22.3					
資金繰り	93	4.3	67.7	28.0	-23.7					
業況（自社）	93	9.7	55.9	34.4	-24.7	92	15.2	47.8	37.0	-21.8
長期資金借入難度	84	4.8	73.8	21.4	-16.6	84	6.0	71.4	22.6	-16.6
短期資金借入難度（含手形割引）	75	6.7	76.0	17.3	-10.6	76	6.6	72.3	21.1	-14.5
借入金利率	80	5.0	88.7	6.3	-1.3	79	3.8	91.1	5.1	-1.3

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	97	7.2	42.3	50.5	-43.3
採算（経常利益）	96	11.5	54.1	34.4	-22.9
従業員（含臨時・パート）	87	2.3	87.4	10.3	-8.0

上2表

- ↗ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
- : 不変
- ↘ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗ : 良い・過剰・黒字・活発
- : ふうふう・適正・収支トントン・ふうふう
- ↘ : 悪い・不足・赤字・低調

2. 新規設備投資

	企業数	実施・計画している	実施・計画していない								
			土地	建物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	その他	
今期	94	17.0	0.0	18.8	18.8	25.0	18.8	43.8	12.5	12.5	83.0
来期	94	12.8	8.3	16.7	33.3	16.7	25.0	50.0	8.3	0.0	87.2

3. 経営上の問題点

企業数	84				
経営上の問題点	1位	2位	3位	1~3位	
大企業の進出による競争の激化	7.1	1.2	1.2	9.5	
新規参入業者の増加	7.1	4.8	3.6	15.5	
利用者ニーズの変化への対応	14.3	17.9	13.1	45.2	
店舗施設の狭隘・老朽化	4.8	2.4	4.8	11.9	
人件費の増加	7.1	4.8	6.0	17.9	
原材料・人件費以外の経費の増加	0.0	6.0	9.5	15.5	
利用料金の低下・上昇難	3.6	17.9	8.3	29.8	
材料等仕入単価の上昇	7.1	8.3	4.8	20.2	
金利負担の増加	1.2	1.2	0.0	2.4	
事業資金の借入難	2.4	4.8	4.8	11.9	
従業員の確保難	1.2	6.0	0.0	7.1	
熟練技術者の確保難	4.8	6.0	2.4	13.1	
需要の停滞	36.9	7.1	11.9	56.0	
その他	2.4	0.0	1.2	3.6	

